

第125号 (1994年11月)

海運政策のマクロとミクロの現代的考察	山 岸 寛 (東京商船大学教授)
海運保護政策の問題と海運自由化の最適性	澤 喜司郎 (山口大学教授)
エクソン・バルディーズ号原油流出事件	三ッ井 光 晴 (神戸商科大学教授)
- エクソン社とアラスカ漁師達の対立 -	
日本海運業の付加価値分析	吉 田 茂 (神戸商船大学助教授)

第126号 (1995年 6月)

旧開放的定期船市場における企業行動の経済分析	村 上 英 樹 (神戸大学経営学部助教授)
- 新規参入船社と盟外船社の競争行動をめぐって -	
関西国際空港アクセスの交通手段選択モデルの検討	長谷川 友 美 (姫路短期大学助手)
アラスカ油濁事故の衝撃 (続編)	高 橋 清 (石油海事協会専務理事)
- その余濤余波 - (その5)	
国際複合輸送と総合物流に関する研究	田 豊 (大阪商船三井船舶)

第127号 (1995年 9月)

運輸業の産業連関分析	澤 喜司郎 (山口大学教授)
海運成長と海運政策	吉 田 茂 (神戸商船大学助教授)
社会資本整備と総合物流情報政策	陶 怡 敏 (広島経済大学助教授)
検証：1990年アメリカ合衆国油濁法 第1016条 賠償資力責任	斎 藤 和 夫 (日本船主責任相互保険組合)
- 資力責任の証明方法及び賠償資力責任証明書についての規則 -	
(Financial Responsibility for Water Pollution (Vessels) under the Oil Pollution Act of 1990)	